

私のすすめるこの1冊

鈴木 祥子 (理学科 講師)

『五輪書』

宮本武蔵 (著)

宮本武蔵というと歴史上の人物であり、主人公になっている小説や漫画、ドラマなどもありますので広く名の知られた人物だと思います。とはいえ、私が知っていたのは宮本武蔵が「剣豪」だったということぐらいでした。恥ずかしながら主人公となっている有名な小説を読んだことがなく、特定の大名に仕えずに武者修行していた(10年くらいのことのように)ことや、巖流島で佐々木小次郎と行った決闘のエピソード(かなり脚色されているものだと思います)から、型破りで破天荒な人だったのだろうと勝手に思っていました。ですので、大変失礼なことですが、書物をしたためていたと初めて聞いたときはとても意外に思いました。この本を初めて読んだのは一昨年前、きっかけとなったのはNHK教育テレビの某番組で、偶然「五輪書」を解説した回を見たことでした。宮本武蔵の生きた時代の背景や関係する歴史的な資料を基に、その人物像、本書の意図及び内容について解説を聞いているうちに興味を惹かれ、読んでみることにしました。本書は多くの実戦経験や長年の鍛錬の末にたどり着いた剣術及び兵法について書かれたものだと思います。その内容は剣道をやっておられる方には身近なことかと思いますが、経験したことがない私のような者でも、宮本武蔵が何を大切にしていたのかは分かるような気がしました。読んでいて驚いたことは、その合理的な考え方です。強くなるために身体の使い方、武具の特徴

や使い方、日ごろから乱れない心の持ち方、更にここまでかと驚いたのは目線をどうするかということまで、関係するもの全てについて流派を超えて研究していたようです。詳しくは本書を読んでいただきたいのですが、剣術を追及し、いくつもの藩で客分として剣術指導をしていた人の言葉として意外だと感じたのは、次のような言葉です。

「兵法のことにおみて、いづれを表といひ、いづれを奥といはん。芸により、ことにふれて、極意秘事などといひて、奥口あれども、敵と打合時の理におみては、表にてたゞかい、奥を以てきると云事にあらず。」[兵法のことにおいて、何を表と言ひ、何を裏と言おうか。芸により、事にふれて、極意・秘事などと言って、奥とか口とかがあるが、敵と打ち合う時の理においては、表で戦ひ、奥で以て切るといふことなどはない。(ビギナーズ日本の思想 宮本武蔵「五輪書」、魚住孝至編、角川ソフィア文庫)]

私流の解釈になりますが、これは何かを行うときに形式にとらわれてはいけないということのように思えます。課題なり物事なりを達成するのにふさわしい方法でやるには、本質を理解しておくことが大事といているようで、とても合理的に思えました。

最後になりますが、宮本武蔵は武者修行を京都で行っていたこともあり、所縁の地があるとか。そのころに思いを馳せながら巡るのも楽しみです。

「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

おにぎり2個
&お茶付き！
先着30名

第13回を実施しました

10月25日(木)、附属図書館1階のリフレッシュラウンジにて「それはかなう夢講座」が実施されました。第13回は、理学科の藤浪理恵子先生による「色々なところで生きることを決めた植物たち」をテーマに、お話しがありました。定員30名を越える参加があり、多くの学生や教職員で賑わいました。

第14回のお知らせ

【日時】12月13日(木) 12:10~12:40

【場所】附属図書館1階 リフレッシュラウンジ

【講師】原田 信一(産業技術科教授)

【テーマ】ものづくり学習に活かせる！おもしろエネルギー実験

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のための
カリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館



わくわく kyo2 ライブラリー-2018 読書キャンペーン

図書館で借りた本の紹介をして、そったくんグッズや図書カードをもらっちゃおう！

実施期間：2018年10月1日(月)～2019年2月1日(金)

借りた本のポップ(A6サイズ、イラストやキャッチコピーなど)や、紹介文(400字～600字程度)を提出してください。全作品の中から優秀なものには館長賞(図書カード)が授与されます。選考からもれた方には、参加賞を進呈します。

【対象者】本学学生(学部学生、大学院生、科目等履修生、研究生等)詳細は、館内ポスターや附属図書館HPなど各種お知らせをご覧ください。



読みたい本に
投票しよう！
(1日1ポイントまで)



リクエストと投票で話題の本を読もう！

リクエストや投票にどんどん参加してください！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！

●リクエストは随時受け付けています

- ・学習研究目的のものは原則として購入します。
- ・学習研究以外の目的のものは、毎月10日までに受け付けた分を15日～月末に館内で投票し、票の多かった本を購入します。※結果によっては購入できないこともあります。

11月の投票期間は

11月16日(金)～11月30日(金)です。

※図書館1階渡り廊下・北館2階研修セミナー室前に展示しています。

学修相談カウンター

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？

どんどん
利用してください！



図書館講習会のお知らせ

4～7月に実施した講習会を10～11月にも開催します。詳しくは、図書館HPやチラシをご覧ください。

企画展示室（北館1階）

<報告>

2018年度
MOA 美術館伏見区児童作品展

10月20日（土）～27日（土）に開催されました。子ども達の力作揃いでした！



<開催します>

KYOKYO SDGs – 私達ができること（井谷恵子先生）

【会期】11月21日（水）～12月27日（木）

京都教育大学同窓会写真展

【会期】11月16日（金）～11月19日（月）※最終日15時迄

第23回教科書展

「平和教育と教科書～教科書で戦争と平和を考える～」

【会期】11月15日（木）～12月27日（木）

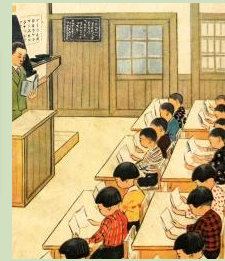
<教科書展開催記念講演会>

次世代につなぐ平和教育：平和で民主的な社会の形成

【日時】11月24日（土）13:30～16:30
【会場】附属図書館北館2階研修セミナー室1
【主催】京都教育大学附属図書館
【共催】平和教育授業研究会
※申込不要、詳しくは図書館HPにて



▲『初等科国語 八』文部省著、1942（戦後に一部訂正削除された「墨塗り教科書」の実物を展示します）



<お知らせ>

◆第7回 京都・大学ミュージアム連携スタンプラリー

（本学は参加大学です。）

9月15日（土）～12月8日（土）
京都の大学ミュージアムをまわって「知」と「美」と「素敵な景品」を手に入れよう！

◆教育資料館夏季臨時休館中です

企画展等準備につき、
8月1日（水）～11月2日（金）は休館しています。

◆企画展「掛図からみる京都師範の歴史教育」

11月5日（月）～12月21日（金）
【開館曜日】月・水・金・日曜日および11月17日（土）
【開館時間】13:30～17:00
【会場】京都教育大学 教育資料館 まなびの森ミュージアム
【入館料】無料

児童書コーナー（南館1階）



学生作のチラシ



学生による絵本のよみかぜ

※2018年9月～2019年3月は開始時間が14:30～に変更となりました。

★11月5日（月）14:30～14:45

『くつつあるけ』他

★11月19日（月）14:30～14:45

『おばけのてんぷら』他

今月の絵本カード（学生作）

『りんごころころ』
作：松谷 みよ子
絵：とよた かずひこ
出版社：童心社



※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品（10・11月）

「神代續歴代皇陵譜（しんだいぞくれきだいこうりょうふ）」

【展示場所】附属図書館北館1階渡り廊下

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。

写真は一部分です→

教育資料館 まなびの森ミュージアム
<http://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>



京都教育大学紀要(大学発行の学術雑誌)に掲載された論文を、執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです。

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **荻野 雄**(社会科学科 教授)

ドゥルーズの『シネマ』をクラカウアーの映画理論を通じて読む(1)

— 映画の経験の映画理論 —

荻野 雄 京都教育大学紀要. 2018, No. 133, pp. 67-84.

ドゥルーズの『シネマ』をクラカウアーの映画理論を通じて読む(2)

— 「ただ見ること」の政治学 —

荻野雄 京都教育大学紀要. 2018, No. 133, pp. 85-99.

本論文は、20世紀を代表する哲学者の一人であるドゥルーズの映画論『シネマ』を、クラカウアーの『映画の理論』を手引きにして解説したものです。ドゥルーズの著作は今日の映画理論にとって最も重要な作品の一つとなっていますが、難解なうえ議論も錯綜しており、その全体をまとめて捉えることは容易ではありません。それに対してクラカウアーの著作は、観客としての経験からの映画論という視点を明確に打ち出しているため比較的理解しやすく、そして彼の映画理論はドゥルーズのそれと非常によく似ています。本論文では、両者のこの同型性を具体的に示していくことで、ドゥルーズの映画理論も観客としての経験を核としていることを明らかにしました。

ただし彼らの考える観客としての映画の経験とは、こことは違う世界で別の人間が味わっているドラマを、まるでその人間になったかのように体験することではありませんでした。彼らにとっては現在の世界では、人間は日常的にはいわばヴェール(ドゥルーズによれば「クリシェ」、クラカウアーによれば「抽象性」)によって真の物理的現実から隔てられており、こうした閉塞された世界の外部に開かれて、実は多様な精神的意味に満ちている真の物理的現実を受容することこそが、映画の経験でした。彼らによればこの映画経験によって観客はまた、新たな生の可能性にも貫かれていきます。つまりドゥルーズとクラカウアーが観客として映画に求めていたのは、「ドラマではなくドラマの機会」(クラカウアー) だったのです。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 133 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>でもご覧ください。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2018年11月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

11/7 館内整理日

11/10 センタープレテスト

11/16-18 藤陵祭

2018年12月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

12/1 推薦入試

12/8 推薦入試

12/22-1/6 冬季休業

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版 OPAC

(QRコード)

<http://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.218(2018年11月号)

発行日:平成30年11月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp



国立大学法人

京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION